

詩部門 小学生の部

最優秀賞

もう一度勇気を持って

甘木小学校 6年

赤瀬 優太

また あの子が 言われている

また あの子が されている

「大じょうぶ？」ときくと

「大じょうぶ」と返ってきた

周りは何も 言わない

ぼくは何も 言えなくなった

ほんとうに「大じょうぶ」なのかな

一度話しかけてみよう

「ほんとうに大じょうぶ？」

いつでもいいどこでもいい

あの子に一度話しかけてみよう

歩幅

秋月小学校6年

福江 愛実

あなたは少し 歩くのがおそい

あなたは少し 歩くのがはやい

だけど

歩はばって合わせられるんだよ

かたを並べて歩いたほうが

楽しいじゃん

心の表情

甘木小学校6年

鶴本 彩里

みんなに悪口を言われた
バカにされた
笑われた

私は笑った
心は泣いていた

みんなにほめられた
すごいって言ってくれた
笑ってくれた

私は泣いた
心は本当の本当に笑っていた

入選

ぼくはぼく

甘木小学校6年

高倉 奨晟

男らしくとか
女らしくとか

普通がいいとか
一番がいいとか

誰が 決めた ことなのだろう

人と同じじゃなきゃいけないのか
人とちがってはいけないのか

好きなものは「好き」
きらいなものは「きらい」といえる

ぼくは

自分の気持ちに正直に生きたい